

超高齢がん患者に対するオピオイド（がん性疼痛に対する鎮痛薬）使用状況の調査に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター緩和ケア内科では、「超高齢がん患者に対するオピオイド使用状況の調査」を行うことになりました。

この研究の目的は、高齢のがん患者さんの痛み止め（オピオイド鎮痛薬）の使用状況を調べ、その適切な使用量や患者ニーズを明らかにすることです。

この研究のため、2018年1月1日より2023年6月30日までに治療した方の診療録、検査データ等の調査を行います。対象となるのは80歳以上のがん患者さんでオピオイド鎮痛薬を用いた方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（オピオイド鎮痛薬使用量、副作用、疼痛コントロール状況）等です。患者さんのお名前、ご年齢などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2023年8月 研究責任者
東京医療センター
緩和ケア内科/腫瘍リハビリテーション科
宮田 知恵子
連絡先 03-3411-0111(代表)